

報道関係者の皆様へ

2018 年 5 月 吉日

特別展「うつわと和菓子」

とらや 東京ミッドタウン店ギャラリーでは、2018 年 6 月 20 日（水）～26 日（火）の期間、特別展「うつわと和菓子」を開催いたします。



本展では、武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科クラフトコース陶磁専攻 3 期生の学生の皆様が制作した、とらやの和菓子を題材にしたうつわを、その制作過程の記録などとともにご覧いただきます。

同校の学生が、授業の一環としてとらやの和菓子を題材にうつわの制作に取り組むようになったのは 2015 年からのこと。和菓子の歴史や製法、菓銘や意匠にまつわる物語を知り、和菓子づくりの見学や体験を通して得た学びを基に、うつわを制作しています。3 年目を迎えた今回、特別展「うつわと和菓子」と題し、2017 年度につくられた 18 作品をご紹介します。ぜひ、和菓子の魅力を引き立てるうつわと、つくり手の瑞々しく豊かな感性をお楽しみください。

■展示内容

- ・ 18 名の学生による作品 18 点を展示。
- ・ 学生自身の言葉で綴った、うつわの解説書を無料配布。(数に限りがございます)
- ・ それぞれの「うつわと菓子」の写真を、巨大スクリーンにて投影。
- ・ うつわづくりに向き合う学生の皆様の姿を記録した多数の写真を展示。
- ・ うつわづくりの代表的な製法についてご紹介。

■ポイント

- ・ うつわの解説書や展示パネルのデザインなども、学生の手によるものです。
- ・ 本展期間中は、うつわのつくり手である学生も在廊します（一部時間を除く）。お立ち寄りの際は、ぜひお声をかけてあげてください。
- ・ 作品の一部は、本展期間中、隣設の虎屋菓寮にて実際にご利用いただけます（生菓子をご注文の方に限る。）和菓子の魅力を引き立てるうつわと、つくり手の瑞々しく豊かな感性をお楽しみください。

■基本情報■

- 名 称 : 特別展「うつわと和菓子」
- 場 所 : とらや 東京ミッドタウン店内 ギャラリー
(東京都港区赤坂 9-7-4 D-B117 東京ミッドタウン ガレリア地下 1 階)
- 電話番号 : 03-5413-3541
- 会 期 : 2018 年 6 月 20 日（水）～6 月 26 日（火）
- 時 間 : 11:00～21:00 (店舗営業時間と同じ) ※無休 (東京ミッドタウン休業日に準じます)

■うつわの一例と、そこに込めた学生の思い



月心（つきごころ）

いつどんなときも、月は夜空のそこにあり、かわらずに見守っていてくれる、そんな月夜の静けさと日本の円満なところをろくろで表現しました。

「天の原 振りさけ見れば 春日なる 三笠の山に出でし月かも」阿倍仲麻呂

遠く離れたあなたにも、この月は見えていますか。この優しい味もずっとあなたのこころにとどまりますように。

とりのかご

子供が初めて和菓子を食べることを祝う「和菓子記念日」と、そのための「うつわ」を提案しました。育ちゆく子供の姿を鶺鴒の愛らしさに重ね、鳥かごをモチーフにデザインしました。ふたを開けると、かわいい『鶺鴒餅』が現れます。子供が健やかに巣立つことを祈り、この「うつわ」に想いを込めました。



雪ノ島（ゆきのしま）

雪の島は無垢な白い世界です。静かで神秘的で、ワクワクします。その世界の中に甘さと幸せをくれる和菓子をのせると、なにかが起こりそうな気がします。和菓子をのせることで、違った景色が生まれます。それぞれが物語を想像し、楽しく食べてほしいです。

※展示の際、うつわの上にお菓子は乗りません。

また、題材となったお菓子は期間中、一部を除き販売しておりません。

〈協力〉

【武蔵野美術大学 工芸工業デザイン学科 陶磁研究室】

人間の制作とモノに関わりをもち、心地よい暮らしをデザインするための豊かな感性と幅広い知識、問題意識を養いながら、人を軸にした生活環境やプロダクトデザインを創造しています。



【とらや 東京ミッドタウン店】

和菓子だけではなく、和の様々な魅力や価値も広くお伝えしたいという想いから、ギャラリーを併設し企画展を開催しています。想いを同じにする方とパートナーを組み、ふろしきや漆、こけしなどをテーマに、これまで企画展を実施してまいりました。これからも、日本文化を今の時代にあった新しいかたちで発信していきます。



＊取材に関する問い合わせ先＊

株式会社 虎屋 企画室広報課 住所：東京都港区元赤坂 1-2-7 赤坂Kタワー7階 担当：早瀬寛太

[Tel:03-3408-4128](tel:03-3408-4128) E-mail: kouhou@toraya-group.co.jp